



上野原市

第 29 号

発行者 上野原市議会議長

杉本 公文

編集 上野原市議会だより

編集委員会

平成24年4月25日発行

議会だより

もくじ

議長あいさつ・
第1回定例会……………2P

議決結果……………3P

常任委員会報告
…………… 4～7P

予算特別委員会報告
……………8P

一般質問……………9～14P

今後の議会日程・
広域行政…………… 15P

市民の声・議会活動・
あとがき…………… 16P



“春爛漫”桜の下で(八ッ沢地区)

議長あいさつ・第1回定例会

平成二十四年第一回定例会は、二十三日間の会期日程にて行われ、市長から提出された五十四案件の全てが、それぞれ原案どおりに承認・適任・同意・可決されました。

特に、今議会は市民生活の基本となる市の一般会計と、十六の各特別会計及び病院事業会計の大切な新年度予算案の審議も三日間をかけ、課別に集中した熱心な質疑を予算特別委員会において実施しました。

一般質問には、十二名の議員が当初予算編成や市政の課題等に対し、多くの提言とともに当局の方針などを質しました。さて、私も議会改革を掲げ、議長に就任して一年となりました。

この間、改革の基本とすべき議会基本条例の制



定に向け議会内に要請し、新年度には具体的な作業を実施していただけると確信しています。

策定の過程で、政務調査の充実、情報公開の範囲や市民参加の方法、議員定数の削減などの課題も検討して頂きたいと考えます。

しかし策定を待つまでもなく改革は必須で、新年度には議長交際費の削減とインターネットによる公開を検討します。

信頼される議会に向け市民の皆様のご理解とご支援及び、ご意見をお寄せ下さい。

平成24年 第1回定例会

平成24年第1回定例会は、3月7日(水)から3月29日(木)までの23日間の会期で開催され、市長提出の条例制定や当初予算及び補正予算など54件に加え、発議1件、請願1件、動議1件を審議しました。

請願第1号の「地デジ改修の補助金に関する請願書」については、付託された総務常任委員会において、不採択とすべきものとされ、本会議では、賛成・反対それぞれの討論ののち、採決した結果、賛成少数で不採択とされました。

その他の案件については、原案どおり可決、承認、同意されました。

なお、議決結果等については、次ページをご覧ください。

市長提出議案 54件

- 条例制定(新規) 6件
- 条例制定(一部改正) 10件
- 平成23年度補正予算 10件
- 平成24年度当初予算 18件
- その他の議決案件 10件

議員提出議案 2件

- 条例制定(新規) 1件
- 決議案 1件

請願 1件

◆上野原市ホームページで、会議録を公開しておりますのでご覧ください。

議 決 結 果

平成24年第1回定例会議決結果等一覧表 (賛成○ 反対● ※杉本公文議長を除く)
賛成討論者◎ 反対討論者●

種別	議案番号	案件名	付託委員会	氏家隆信	久嶋成美	東山洋昭	村上信行	小俣修	小俣宏之	川島秀夫	田中英明	山口好昭	長田喜巳夫	杉本友栄	尾形幸召	鷹取偉一	久島博道	服部光雄	岡部幸喜	尾形重寅	審議結果			
条例制定・改廃	第2号	市長、副市長及び教育長の給与の特例に関する条例制定について	総務																			原案可決		
	第3号	旅費等の特例に関する条例制定について																						
	第4号	墓地、埋葬等に関する法律施行条例制定について	文教厚生																					
	第5号	公有地の拡大の推進に関する法律施行令第3条第3項ただし書の規模を定める条例制定について	総務																					
	第6号	暴力団排除条例制定について	文教厚生																					
	第7号	地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定について																						
	第8号	スポーツ振興審議会条例の一部を改正する条例制定について																						
	第9号	学校給食共同調理場条例の一部を改正する条例制定について																						
	第10号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	文教厚生	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	
	第11号	公民館条例等の一部を改正する条例制定について																						
	第12号	火災予防条例の一部を改正する条例制定について	総務																					
	第13号	介護保険条例の一部を改正する条例制定について	文教厚生																					
	第14号	下水道審議会条例及び市立病院委員会条例の一部を改正する条例制定について																						
	第15号	生活安全条例の一部を改正する条例制定について	文教厚生																					
	第16号	国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	総務																					
	第17号	税条例の一部を改正する条例制定について																						
	発議第1号	市議会議員の旅費の特例に関する条例制定について																						
平成23年度・補正予算	第1号	専決処分の承認を求めることについて(一般会計補正予算(第6号))																				原案可決		
	第18号	一般会計補正予算(第7号)																						
	第19号	国民健康保険特別会計補正予算(第3号)																						
	第20号	後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)																						
	第21号	介護保険特別会計補正予算(第3号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	第22号	公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)																						
	第23号	簡易水道事業特別会計補正予算(第5号)																						
	第24号	教育奨励資金特別会計補正予算(第2号)																						
	第25号	上野原財産区特別会計補正予算(第1号)																						
	第54号	一般会計補正予算(第8号)																						
平成24年度・当初予算	第26号	一般会計予算																				原案可決		
	第27号	国民健康保険特別会計予算																						
	第28号	後期高齢者医療特別会計予算																						
	第29号	介護保険特別会計予算																						
	第30号	介護サービス事業特別会計予算																						
	第31号	公共下水道事業特別会計予算																						
	第32号	簡易水道事業特別会計予算																						
	第33号	教育奨励資金特別会計予算	予算特別	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	第34-38, 41号	財産区特別会計予算(大目・甲東・巖・島田・上野原・秋山)																						
	第39号	檜尾根外十二恩賜林保護財産区特別会計予算																						
第40号	小金沢土室山恩賜県有財産保護組合西原分収益事業特別会計予算																							
第42号	西棚ノ入外十一恩賜林保護財産区特別会計予算																							
第43号	病院事業会計予算																							
指定管理	第44号	森林総合利用施設の指定管理者の指定について	建設経済	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決		
	第45号	ふるさと長寿館の指定管理者の指定について																						
	第46号	羽置の里びりゅう館の指定管理者の指定について																						
その他	第47号	老人福祉センターの指定管理者の指定について	文教厚生																					
	第48号	業務委託契約代金等請求事件の和解について																						
人事	第49号	山梨県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び同組合規約の変更に関する協議について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決		
	第50号	教育委員会委員の任命の同意について																					同意	
	第51号	人権擁護委員候補者の推薦について																					適任	
	第52号	財産区管理会委員の選任の同意について																					同意	
請願	第53号	檜尾根外十二恩賜林保護財産区管理会委員の選任の同意について																				同意		
	第1号	地デジ改修の補助金に関する請願書	総務	○	○	●	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	不採択		
動議	上野原市議会議長の辞職勧告決議案		●	●	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決			

閉会中の総務 常任委員会報告

委員長 鷹取 偉一

消防庁舎建設に関する
ことについて、岐阜県瑞
浪市消防本部の視察を行
いました。

瑞浪市消防署は、職員
定員五十七名二交代制
で、実員数五十四名、上
野原市と同数です。本部
組織は、消防総務課・予
防課・警防課の三課体制
と、消防署で構成され、
きめ細かな業務が推進さ
れておりました。

消防庁舎は、防災セン
ターの機能も併設してお
り、庁舎を視察したとこ
ろ、長時間の勤務体制と
なる署員の生活環境が十
分に整備され、女性職員
用も含め十九室の仮眠室
の他、休養室、食堂、浴
室なども完備されていま
した。執務室は、緊急出

動に対応するため十分な
スペースの確保と採光、
照明、換気、室温など快
適な居住環境を備えた庁
舎でありました。

庁舎建設に当たり、次
のようなアドバイスをい
ただきました。

◆庁舎スペースを有効に
活用し隊員の初動体制が
最短に機能できる施設配
置で、車庫内には排気ガ
スが滞留しない構造とす
る。◆職員の事務執行の
向上と健康管理には十分
配慮し、シックハウス対
策を考へること。◆事務
室は大部屋式とし
組織機構の変化に
即応できること。

◆業務上で関わり
の多い部門は、同
一階に配置し動線
を直線的に。◆通
信室は、配線・配
管、機器搬入、メ
ンテナンスに備え
て工夫すること。

◆職員は、二十四
時間拘束勤務形態
であることから、



瑞浪市消防本部より説明を受ける委員

生活部門の施設は、居住
性を十分配慮するととも
に、福利厚生面、健康管
理等に配慮した施設と
し、特に仮眠室は、個室
化を図り、隊員の環境衛
生に配慮すること。◆緊
急消毒室を救急車収納位
置の直近に設けること。

その他多くの注意点を
伺いました。新庁舎での
業務開始から五年間の勤
務経験を踏まえたアドバ
イスでもあり、今後の計
画策定に当たり大変参考
になる説明をいただきました。

閉会中の文教厚生 常任委員会報告

委員長 服部 光雄

本委員会は、閉会中の
一月十九日・二月二十三
日の二回にわたって委員
会を開き先に議決された
諸点の調査を行いました。

●一般廃棄物最終処分場

一般廃棄物の焼却から
出る灰・不燃残渣などの
最終処分場は自治体区域
内の処理が大原則ですが
山梨県ではその取り組み
が遅れています。

今回、県は笛吹市境川
町を建設予定地とした県
内二十七市町村参加によ
る最終処分場建設計画を
進めていて、既に事業主
体を山梨県市町村総合事
務組合とすることや今後
のスケジュール、費用負
担なども昨年十二月の関
係市町村会議で了承され
ているとの報告でした。

計画の概要では全体面
積約十二畝・埋立容量約
三畝・埋立容量約三十万
m³で、平成二十四年度の
着工から埋立開始迄の準
備期間六年・埋立期間二
十年・その後の維持管理
期間十八年の合計四十四
年間、総事業費四十八億
七千万円と見込まれ、市
の負担額は約七億二千四
百万円とされています。

この市の予想負担額が
近隣他市と比べて突出し
て多いことが問題となり
再調査を求めました。

その結果、市の焼却施
設の能力や後処理
の違いが原因と分
り、止むをえない
と判断しましたが、
今後も慎重に検討
を進めるよう求め
ました。

●保育所の統合計
画

審議会の答申に
基づき進めている
市立保育所再編成
計画を調査しまし
た。



巖地区新保育所予定地を視察する委員

計画は①第一・第二・
島田を統合して上野原地
区に二百名規模の新保育
所を建設②巖・大目・甲
東を統合して巖地区に九
十名規模の新保育所を建
設③秋山・西原両地区は
現状どおりとしています。

巖地区新保育所は旧四
方津小跡地の施設を取り
壊して建設することから
現在ある公民館・出張所
の取扱いが問題となり、
関係部署とよく協議して
進めるよう要望しました。

閉会中の建設経済
常任委員会報告

委員長 山口 好昭

第四回定例会で議決された閉会中の継続調査として「野菜直売所の運営について」調査をいたしましたので報告します。

●中央市「た・から」農産物直売所

二月一日、委員全員に経済課職員が同行し、中央市の四季新鮮収穫広場農産物直売所「た・から」に出向き調査しました。

前回の委員会で談合坂サービスエリア内のやさい村視察を行いました。が、冬場の品数確保が課題とのことで、先進地の運営状況を調査したものです。直売所施設は中央市が主体となり建設したもので建物面積五百五十六・九八㎡、鉄骨造り平

屋建て、総建設事業費二億三百七十九万四千円で、建物・土地ともに市が所有しており、運営主体の「農事組合法人た・から」が無償で借り受け事業を展開しております。平成十八年五月オープン

当初は運営状況も厳しいものでしたが、各種イベントの開催、環境保全型農業への取り組み、出荷時期をずらした指導で、直売所の半径五キロ以内に大型スーパーが数多く出店し売上競争も激化する中、鮮度を売り物に確実に販売額を伸ばし、視察当日も大変盛況でありました。

「ビニールハウス栽培」

午後からはトマトやキュウリ等を中心とした野菜栽培をしている専業農家の圃場を視察しました。上野原市には「やさい村」他、十



中央市のビニールハウス栽培を視察する委員

一の直売所が存在しますが、冬場の出荷品目の確保が共通の課題です。大型ビニールハウス導入は難しく検討が必要ですが、栽培方法などソフト面での取り組み状況を視察することが出来ました。なお、今後直売所については、生産者と消費者の交流を図りながら年間を通し安定した出荷体制の確立を目指し、栽培技術向上の支援等あらゆる対策を検討され、地域農業振興の中核的施設となるべく要望しました。

委員会構成が変わりました

◎委員長 ○副委員長

議員会

会長 岡部 幸喜
副会長 服部 光雄

総務常任委員会

鷹取 偉一 杉本 友栄 村上 信行



◎川島 秀夫 ◎岡部 幸喜 杉本 公文

文教厚生常任委員会

氏家 隆信 久嶋 成美 久島 博道



◎山口 好昭 ◎尾形 幸昭 服部 光雄

建設経済常任委員会

小俣 宏之 田中 英明 小俣 修



◎東山 洋昭 ◎尾形 重寅 長田 喜巳夫

議会運営委員会

鷹取 偉一 服部 光雄 尾形 幸昭



◎久島 博道 ◎尾形 重寅 岡部 幸喜

総務常任委員会報告

委員長 岡部 幸喜

三月七日、委員会を開催し、付託された案件の審査を行いました。

(議案名は三ページの議決結果等一覧表を参照)

●議案第二号

市長、副市長及び教育長の期末手当について、昨年に引き続き、減額して支給するもので、年額で百万五千円の削減となります。

●議案第三号

市長、副市長、教育長、職員が公務のために旅行した場合の旅費の内、日当については、支給しないことを平成二十五年三月まで引き続き継続するものです。

●議案第五号

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、これまで県

条例で規定していたものを市条例で定めるものです。

●議案第十二号

危険物の規制に関する政令の一部を改正する政令が公布されたことに伴い、取扱い基準を定めるために所要の改正を行うものです。

●議案第十六号

国民健康保険の税率を見直し、特別会計の健全化を図るものです。

●議案第十七号

地方税法の改正に伴い、所要の条例改正を行うものです。

●議案第十八号

当局提案の六案件については、採決の結果、全会一致で異議なく原案どおり可決すべきものと決しました。

●請願第一号

この請願は、早期に地デジ放送受信設備の改修

を行ったコモアしおつ団地管理組合法人に地デジ改修の補助金支給を求めた内容です。

委員からは、請願の趣

旨に対し、賛否の意見が出されました。

反対意見としては、自

主共聴組合地上デジタル放送視聴施設設置工事費補助金の趣旨は、アナログからデジタルへのスムーズな移行と地デジ難民を無くすために執られた措置であり、それ以前に行われた工事に適用すべきではない。

賛成意見としては、目的が同じであれば、他と同様に補助金支出を認めるべきである。また、

コモアの問題については、別途協議となっており、公正・公平な立場でみると、市の補助金交付要綱の範囲には該当しない

ということもあるが、何らかの方策で助成できるよう、市の判断を仰ぐと、賛成、反対それぞれの意見と討論が行われました。

請願第一号、地デジ改

修の補助金に関する請願書については、異議がありましたので、起立採決を行い、その結果、賛成

少数で不採択とすべきものと決定しました。



慎重に審査する委員

文教厚生常任委員会報告

委員長 尾形 幸召

三月十二日、委員会を開催し、付託された案件の審査を行いました。

(議案名は三ページの議決結果等一覧表を参照)

●議案第四号

自治事務として市に移譲されることから、これまで県条例で定められていた必要事項を市条例で規定するものです。

●議案第六号

県とともに暴力団の排除を推進するため、市民・事業者の責務を明らかにするものです。

●議案第八号

スポーツ振興法の改正に伴い、スポーツ振興審議会条例の題名をスポーツ推進審議会条例とするなど、所要の改正を行うものです。

●議案第九号

桐原小学校の適正規模・適正配置に伴い、関係施設

の整理合理化を図るため条例を改正するものです。

●議案第十号

体育指導委員の名称をスポーツ推進委員と変更するのに合わせて、年額二万円の報酬を、日額千円に改正し、また、消費生活相談員の設置に伴う報酬額を日額六千七百円と定めるものです。

●議案第十一号

大鶴小学校及び桐原小学校の適正規模・適正配置に伴い、関係施設を地区公民館などとして利用するための改正です。

●議案第十三号

第五期介護保険事業計画策定に伴い、平成二十四年度から平成二十六年度までの保険料率を変更するための条例改正です。

●議案第十五号

犯罪被害者への支援を規定するものです。

●議案第四十七号

上野原・秋山の老人福祉センターの指定管理者を社会福祉法人上野原市社会福祉協議会に指定するものです。

当局提案の九案件は、採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

所管事務調査

新病院建設の進捗状況について、病院対策課の説明聴取を行いました。

説明によると、駐車場等の外構工事や周辺道路改良工事の完成を六月中旬と予定しており、同時期に六業者が工事に関わるため、それぞれの工期や工程が重ならないよう、本体工事を五月末まで工期延長



新病院建設の進捗状況について説明を受ける委員

し、全体の調整を図りたいとのこと、開院については、外構工事・関連工市の市の検査や県の開発行為完了検査後、七月中旬以降を予定しているとのことでした。

今後、引越し作業の問題や医師・看護師確保の問題・職員駐車場確保など、多くの課題が残されていますので、地域医療振興協会との連携を一層強化して対応されることを要望しました。

建設経済常任委員会報告

委員長 尾形 重寅

三月十四日、委員会を開催し、付託された案件の審査を行いました。

(議案名は三ページの議決結果等一覧表を参照)

●議案第四十四号

森林総合利用施設については、「鶴川溪谷平野田休養村協同組合」が指定管理者として施設の管理・運営を行ってきま

したが、本年三月三十一日で三年間の協定期間が満了するため、引き続き「鶴川溪谷平野田休養村協同組合」を指定管理者として指定するものです。

なお、施設利用者については、六年間の平均が二千九百八十八人で、固定客も増えており、安定した経営がなされており

●議案第四十五号

ふるさと長寿館について

では、「クレイン農業協同組合」が指定管理者として施設の管理・運営を行

つてきましたが、本年三月三十一日で三年間の協定期間が満了するため、引き続き「クレイン農業協同組合」を指定管理者として指定するものです。

また、委員からは、ふるさと長寿館は、市内唯一の天皇陛下行幸の地でもあるため、クレイン農業協同組合と一体となり、より多くの来客数が見込まれるよう、イベント開催による交流の促進など盛大にアピールすべきであるとの意見が出されました。

●議案第四十六号

羽置の里びりゅう館については、「西原地域活性化推進協議会」が指定管理者協定として施設の管理・運営を行ってきましたが、本年三月三十一日

で三年間の協定期間が満了するため、本年四月一日から、現管理者の「西原地域活性化推進協議会」にかわって、「特定非営利活動法人さいはら」を、指定管理者として指定するものです。

びりゅう館は、来客数が見込まない冬季は閉館しているため、閉館中は西原を訪れる観光客がトイレを使用することができない状態となっており、委員からは、施設外へのトイレ設置について要望する意見が出されました。

これに対し、当局からは、当面は西原市内の既存のトイレを、冬季でも使えるよう検討したいとのことでした。

以上、当委員会に付託された三議案については、採決の結果、いずれも全会一致で異議なく原案

のとおり可決すべきものと決しました。

所管事務調査

スマートインターチェンジ建設予定地である談合坂上り線サービスエリア周辺に出向き、建設予定地及び周辺道路の調査を行いました。

今後、建設に当たっては、市道拡幅等のアクセス整備が必要不可欠となります。利用者の安全確保を図るため、十分な調査を要望しました。



付託案件の審査風景

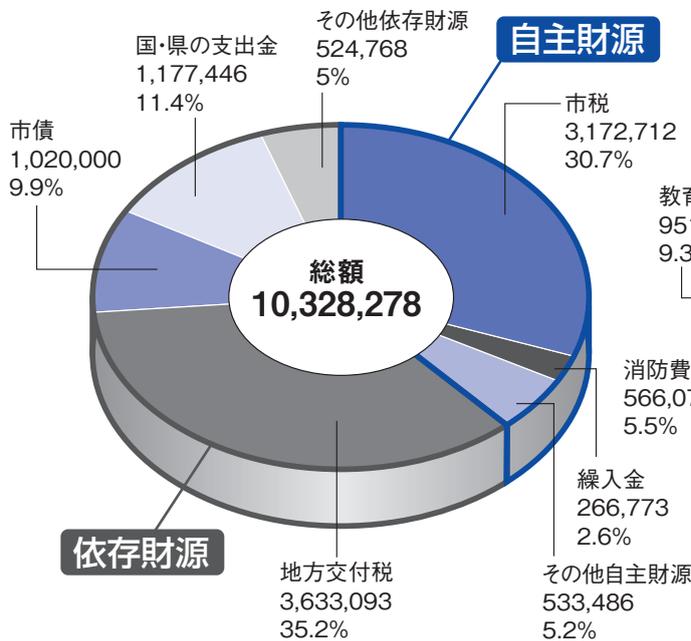
予算特別委員会報告

委員長 杉本 友栄

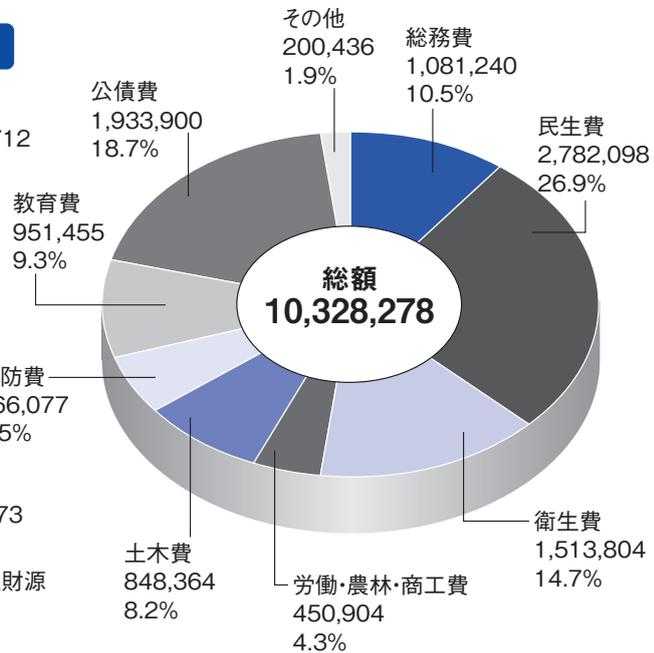
平成24年度一般会計予算のすがた

(単位：千円)

一般会計歳入状況



一般会計歳出状況



- 平成二十四年度当初予算十八件について、三月二十一日、二十三日及び二十六日の三日間にわたり審査した結果、いずれも異議なく原案のとおり可決すべきものと決しました。
- 主な意見等と総括**
- 下水道計画については、合併浄化槽と併せ、早急に将来的な方針を定めるべきである。
 - 介護保険事業については、小規模多機能型施設において、訪問看護の対応ができるよう、市としても事業者との協力体制を強化すべきである。
 - 要援護者管理システムについては、その情報を地域とも共有しながら有効活用を図るべきである。
 - 保育所の適正配置に伴う、新保育所の建設については、関係課等の調整を行うとともに、就労支援策として、多機能型保育所の設置についても検討すべきである。
 - 地域包括支援センター
- については、本来の機能
- を十分に果たすよう、体制の改善を図る必要がある。また、社会福祉協議会の有効活用など、各施策を充実させ積極的な社会福祉の推進を図るべきである。
- 健康増進事業については、検診受診率の向上を図り、医療費の抑制を図るべきである。
 - 情報通信基盤整備事業については、高齢者・非課税世帯・未加入世帯への対応や利活用について検討すべきである。
 - ふるさと納税については、周知活動を強化すべきである。
- その他、新消防庁舎、スマートインターチェンジ、駅周辺整備の早期実現など多くの意見が出されました。
- 市当局に対しては、自主財源の確保や経費の一層の合理化・効率化を図り、引き続き健全な財政運営に努めるよう要望しました。

一般質問



東山洋昭 議員

その他質問

- 遊休農地に関すること
- 観光ボランティアについて

水道料金値上げについて
質問 東部地域広域水道企業団の責務とは。

答弁市長 水道企業団の責務は、将来にわたって広域的に安定した安全な水を安定的に供給できる水道事業を目指して、水道事業の広域化、統合整備及び未普及地帯地域の解消を促進し、効果的な施設設備及び維持管理、水準の向上を図るというのが責務です。

質問 この時期になぜ水道企業団は大幅な値上げが必要なのか。

答弁生活環境課長 水道事業の現状、また財政状況等、今後の見直し並びに料金改定などにつきまして慎重に調査並びに審議が行われた結果、適正な判断がなされたものと考えております。

答弁市長 企業団は特別地方公共団体であり、議会がそこにあります。当市議会の議員の中から、五名選出されて、上野原

市と大月市からの計十名で構成されておりますので、基本的にはそちらのほうで答弁、議会の中で議論されるべきでありまして、当市の議会での市長としての答弁は差し控えていただきたいと思います。

意見 上野原市長としての立場はあるのが、市民八千世帯以上の方がこの水を飲んでいますが、そういう部分で考えていただき、市長としてこの質問についての見解を答弁していただけるのではないかなと思っております。

質問 市民の方々は、料金値上げよっての増収額や、一般会計からの繰入金を増額し、値上げ率を下げる考え、また二十四年度から二十八年度の五年間の値上げということだが、その後の値上げはあるのか等、様々な回答を求めているが。

答弁 これらに対する私の

の一般質問に対する答弁はありませんでした。

質問 水道企業団の経営方法や経営体制を抜本的に変えないといけない時期にきていると感じる。改革が必要と思うが。

答弁総務部長 今後の経営状況や事業内容につきましても当然、企業団議会を始め、内部組織を活用する中で検討していきたいと考えています。

意見 値上げ予定の五年間の経営改善計画を作成すべきではないか。水道企業団はどのような改善改革を推進しようとしているのかが見えない。水は私たちの命の次に大切なものです。当市の企業団所属議員と共に、この組織の経営をしっかりと監視し、改善・改革を求めていきたい。



服部光雄 議員

市長施政方針について

質問 二十四年度予算では、東日本大震災から地震災害にそれなりに配慮しているが、なお目先のものが多い。

発災時の国・県の救援には三日、市は丸一日を前提とした向こう三軒両隣の防災・減災活動計画こそが最も大切である。

答弁総務課長 発災直後の自助・共助が最も大切と考え、今後個人個人への防災呼びかけを強化していきます。

意見 先に策定した地区防災計画もそれっきりである。

質問 市の情報基盤整備事業は地デジ移行が終了したことになるが、なお市と市民を結ぶ情報通信システムの構築、U B Cの経営と市の関りをどうするかが残されている。

答弁企画課長 あるべき情報通信システムはコンサルタント会社に、U B Cの経営と市の関りは弁

護士・税理士・CATV専門家などの委員に検討を依頼して方向を決めます。

意見 U B Cの経営内容からも急ぐ必要がある。

質問 先に地元住民からなる「四方津駅周辺整備促進協議会」から基本構想案が市に提出されているが今後どう扱うのか。

答弁駅周辺整備推進課長 間もなく基本構想策定の可否を回答する処迄きていて、市としてもこれを策定することになればJ R東日本や国・県他、関係団体で構成する協議会を立ち上げ、基本構想を策定することになります。

質問 県への観光客の過半は東京方面から中央高速自動車道を利用し、多くの観光客が談合坂S Aに車を停めているが、そんな中、コモアの斜行エレベーターは「日本一」と紹介されていて、談合坂スマートインターから

護士・税理士・CATV専門家などの委員に検討を依頼して方向を決めます。

コモアに至る線は市観光の目玉になると思う。

答弁経済課長 談合坂S Aのスマートインターは都心からの観光客を市内に誘導する観光資源として大きな可能性を持つと考え今後各種施策を講じていきます。

質問 これ迄市で唯一、人口が増えていたコモアの開発も間もなく完了する。これに替わる市の新住宅建設地域は談合坂スマートインターから大野を経てコモアや四方津駅に至る地域が最も有力と考えられるが、市はこれを入れた市将来構想の中に入れていくべきではないのか。

答弁企画課長 その通りだと考え、四方津駅周辺整備も含めた市の長期総合計画の中で併せ検討していきます。



一般質問



川島秀夫 議員

その他質問

- 公民館活動について
- 消火栓の増設について
- コモア消防用地活用について

質問 厳保育所の建設に関して二十三年度調査費を予算計上されたが、その後の進行状況は。

答弁 福祉保健部長 建設予定地は、旧四方津小学校として昨年十月末に測量等の業務委託契約を締結して、現在業者の方が測量並びに地質調査を行っている状況であります。

質問 二十四年度一般予算に計上されているが、完成の時期は。

答弁 福祉保健部長 合併特例債を利用するので、二十六年度がタイムリミットと考えて、条件が整い次第開所出来るよう推進してまいります。

質問 旧四方津小老朽校舎内にある出張所と公民館はどうなのか。月平均五十団体あまりが活用しています。耐震問題もあるが、地域の大切なコミュニティの場でもあります。

答弁 総務課長 現段階では予算の裏付けを持った

実施計画はないが、新保育所の建設事業の進捗状況に合わせて校舎の取り壊しや複合施設の検討も進めてまいりたいと思います。

質問 コモアの消防団新設についての指導は、その後どのように対応したか。

答弁 消防総務課長 十一月に、消防委員会・消防団・コモア自治会・上野原市、出席のもと二回実施しております。今後、自治会の中で今回の協議結果を持ち帰り、早急に消防団の募集を実施し、巖第四部の動員を図ることで意見集約されていきます。今後コモア自治会の協議結果をふまえ、三回目の協議を開催する予定です。

質問 談合坂スマートインター設置促進運動は、市西部地域の活性化、経済効果、防災面での果たす役割は極めて大きいと思います。この事に関

連してコモアの問題ですが、コモアの北側日向地区に抜ける道路工事が中断されたままです。再開の見通しは。

答弁 建設経済部長 この道路には、用地等の問題があります。これ等の問題を解決していく中で取り組みをしたいと考えています。

質問 四方津駅バリアフリー化についての二十四年度調査費が計上されました。調査の進め方、考え方は。

答弁 駅周辺整備推進課長 駅舎及び駅周辺も含めたバリアフリー化について検討するため、現況調査や整備規模の比較検討などを行い、全体経費や概算工事費を算出する業務です。この資料を基に、整備メニュー、優先順位、財源の検討を行います。今後JR東日本と協議調整し、市としての整備方針、財源について検討していく予定です。

再編について
質問 現市政を担って四年目、予算、重点施策、機構再編は。

答弁 企画課長 予算規模は百三億二千八百二十七万八千円で前年比十・一%減です。その中で医療福祉、教育、子育て支援、特に防災関連に重点的予算配分した。組織再編は行政改革本部、幹事会、組織検討部会を重ねた結果、四月より病院対策課を長寿健康課に統合し病院事業担当に、下水道課を建設課に統合して下水道担当に編成することとし、市長部局は四部十課一支所七出張所の新機構で臨み、危機管理監を設置し防災の体制強化を図る。

質問 地域活性化、地域振興について
質問 当市の誇る地域資源を最大限活用し多くの人が訪れるまちづくりを提唱していますが、その

中で八重山トレイルレースを民間クラブと協働で実行委員会を設置し、更には当市の里山保全と観光発展に「上野原二十名山」選定・県観光推進機構主催「長寿の里・桐原ウォーク」開催等新たな活性化の動きがあるが。



山口好昭 議員

その他質問

- 市観光協会及び観光案内所支援は
- 開院時の医療体制は
- 新消防庁舎建設の今後の見通しは

答弁 総務課長 現在市内の登山愛好家のグループと連携を図りながら市民や関係団体による景観や立地条件を考慮し、「上野原二十名山」を選定し里山の環境整備を進め観光発展を目指します。桐原ウォークは県観光推進機構が実施する日帰りウォークツアーで企画段階から桐原地域振興協議会が協力する中で、計画さ

質問 新市立病院建設進捗と医療環境の充実について
質問 新病院本体工事、内装、外装、周辺環境外構工事、東日本大震災による激震対策、開院月の予定は。

答弁 病院対策課長 現在夜間休日も返上して内装外装等施工し、激震対策として太陽光発電の設置、LED化、受水槽、汚水槽工事を施工して開院は七月中を目指しています。

質問 新消防本部・消防署移転建設の進捗は。

答弁 消防総務課長 十二月八日に松留地区隣接地権者、山梨県、上野原市で境界の確認を実施し、平行して二月十五日に市区長会、三月十日に松留地区、三月十八日に八ッ沢地区、四月に旧町の住民説明会を行います。

一般質問



尾形幸召 議員

質問 旧甲州街道の道標を距離数まで含め、分り易く表示、名所旧跡・神社仏閣の掲載・花桃地区にのぼり旗の掲揚を。

答弁 経済課長 県東部JR八駅トレッキング関係の総合パンフレットにルートを掲載、計画的に道標設置。宿場を中心にした詳細ガイドマップの補填。のぼり旗での誘客促進を考えます。

質問 地域商業活性化推進支援事業に取り組み。

答弁 経済課長 消費者の購買意欲向上を目標に商店街の逸品創出事業、街路灯のLED化助成事業、上野原市振興券発行助成事業を計画。

振興券の実施主体を商工会と協議、一セット一万一千円分を一万円で販売、総額一億一千万円、一万セットの発行予定で、発売予定は六月頃から。
質問 乗り降りしやすい四方津駅を目指したバリフリー化について。

答弁 駅周辺整備推進課長 基本構想策定の時期はその可否を含めて庁内の関係各課と協議調整中。市では基本構想を策定することは、四方津駅のバリフリー化が円滑に進む方策と考えます。

二十四年度実施策定の基本調査業務は、今後の整備方針や財源を検討していく具体的な資料となり、JR東日本と整備内容や費用負担の協議を行い、財源についても検討したい考えです。

費用分担については、駅構内へのエレベーター、エスカレーター、トイレ等の設置、ホームと電車の段差解消はJR東日本の整備及び費用負担となります。コモアブリッジとの連結、コモアブリッジと駅舎をつなぐ部分、南口整備、駅舎の橋上化は市が原則整備及び、費用負担と考えますが、今後JRとの折衝で北口の整備費用まで含めた協議

をしていきます。

質問 談合坂スマートインターチェンジ促進の詳細設計業務委託費用千五百万円の計上について。

答弁 建設経済部長 これまでの進捗を鑑み高速道路の利用促進や地域活性化、災害時の緊急輸送経路の確保を目的として、山梨県をはじめとした関係機関と共に、設置に向けた勉強会を三回開催し検討を重ねました。

上り線にあるSAは上下線共に、フルスマートインターチェンジの設置が可能で建設費用も抑えることができ、総合的に現実的な判断から最終的な計画案となりました。今後は、実施計画の算定に必要な事項について、関係機関への協力を得ながら勉強会を重ね、早い時期に地区協議会を設置、二十四年度内には連結許可申請を行なえるように取り組んでいきます。



小俣宏之 議員

質問 四方津駅バリアフリー化の事業を円滑に進めるには周辺整備事業検討委員会の設置が必要不可欠であるはずだが。

答弁 駅周辺整備推進課長 駅周辺整備事業の検討委員会設置につきまして、四方津駅バリアフリー化基本調査業務などの状況を見ながら事業を進めていく中で、必要性があれば委員会設置の検討をしてまいりたいと考えております。

質問 四方津保育所の取り組みについては近年注目をされているのが木材の利用です。

そこで、四方津保育所も木材を利用した建物として他所とは違った木のぬくもりのある中で子育てができる環境を提案したいが。

答弁 福祉保健部長 保育所は、乳幼児が生涯にわたる人間形成の基礎を培う極めて重要な時期に、その生活の大半を過ごす

その他質問

●市の観光資源の活用について

ところでございます。建設候補につきましては、木造づくり、鉄骨づくり等いろいろな手法があるわけでございますけれども、子供たちが明るく健康やかな保育所生活を送れるような新保育所を建設していきたいと考えております。したがって、木造建築も選択肢の一つでありまして、今後協議を進めてまいりたいと思います。

質問 現在、ごみの収集日は週二回の地域と週三回の地域があるが。

答弁 生活環境課長 現在市では可燃ごみの収集業務につきましては、地区により収集日の回数が異なっております。地域内の人口、また居住戸数等によるごみ排出量を考慮した上で設定しておりますけれども、週三回の地区につきましては上野原、島田、巖地区、それ以外の地区につきましては週二回となっております。

再質問 住民サービスの向上を考えると、収集日が週一回のときは週二回にできるよう配慮を。

答弁 生活環境課長 週二回の収集地区では現在のところ、収集日と祝日が重なった場合につきましては収集業務が休みとなるため、その週は実質週一回の収集となります。ただし、最近では月曜日に祝日の重なる事が多いわけですので、月曜日に限りましては翌日の火曜日に収集業務をしている状況があります。現在契約しております可燃ごみの収集業務委託につきましては、二十二年度から二十四年度まで三年間にわたります長期継続委託契約となっておりますけれども、最終年となります来年度、二十五年度からの契約につきまして、事業内容の見直し等を含めて前向きに検討させていただきますと考えております。

一般質問



村上信行 議員

国民文化祭への取り組みについて

質問 長寿食文化の祭典と、じよいそーらんフェスティバルのイベントを二大柱としているとのことだが、市内には他にも文化的なものがある。そして多くの方が多角的に参加を希望している。真の文化高揚のためにさらなる企画は。

答弁 教育長 二つのイベントをメインの事業と決定しているが、共催事業として取り組めるものは考えたい。

要望 自宅をミニ二資料館にして書、画、歴史資料等展示協力をという方もいる。行政と市民の協働が芽生えるような国民文化祭にして欲しい。
給食の放射線測定について

質問 放射線からの影響は大人に比べ子供は何十倍、何百倍もある。十二月議会の質問には国、県の指針が出てから対応を

その他質問

- 小水力、太陽光発電について
- 地球温暖化対策、地域活性化対策について
- 市職員は一人一人自分のポストに対し市長と団体という意識改革を

ということであったが、その後の経緯は。

答弁 教育学習課長 三月十二日に県で説明会が行われた。七月に五台の測定器が県内に設置される。今後も各調理場と協議し、対応していきたい。

市の医療体制について

質問 市立病院が開院されるにあたって、開業医との連携は。

答弁 病院対策課長 市及び指定管理者では医療連携室を中心に充実を図っていきます。

質問 二十二年度決算で市の国保医療費は二十二億を超えている。疾病予防への取り組みは。

答弁 長寿健康課長 車での日数の増加や個別通知による勧奨。さらに新病院の開院に伴い、院内での健康診査の充実を図ると共に開業医の協力を得ながら実増を図ります。

質問 医療費、市民の健康管理、共に病院間の連携が必要、共通の電子カルテの導入は。

答弁 病院対策課長 県において地域医療再生計画を検討しており、市もこれに合わせ考えたい。

要望 本市がその先進地となるように確立して欲しい。
市政のあり方について

質問 行政改革推進委員会では大綱や実施計画を作成しております。これを絵に描いた餅にしないためには。

答弁 企画課長 地方自治体を取り巻く情勢は厳しい。パブリックコメントを得て、大綱に取り組みたい。

答弁 副市長 しつかりと認識し市民の負託に答えます。

答弁 市長 委員の方々は市の将来のため熱い思いで参画をいただきました。非常に感謝しております。



杉本友栄 議員

合併して六年が経過し、その検証と今後について

質問 県道四日市場上野原線道路改良整備の現状と今後の計画及び、新天神トンネル秋山側の取り付け道路整備は。

答弁 建設経済部長 小和田地区の改良工事が二十三年度に終わり、現在板崎地区の改良工事をこの二月に発注し、今後の計画については寺下、桜井及び、神野地区の改良工事の予定です。

また、取り付け道路整備については、二十三年に用地測量が終了し、県としても最重要道路として位置づけ、事業を進めていくと伺っております。

質問 中学校統合問題と新天神トンネルの関連は。
答弁 学校適正配置推進課長 秋山側の取り付け道路整備工事の完了時期は明確ではないが、スクールバスの安全・安心な運行に万全を期しながら、地域の皆様のご意見、ご

要望をお聞きし、二十四年十二月頃を目途に方向性を出していきたいと考えております。

質問 県営中山間地域総合整備事業の二十二年、二十三年事業実績と二十四年の事業計画は。

答弁 経済課長 二十二年度は、農業用水路等、事業費六千四百三十八万五千円、二十三年度は、鳥獣害防止施設整備等で二億一千六百四十六万五千円、二十四年度は、営農

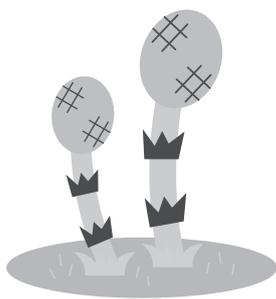
飲雑用水施設等、事業費三億円の計画で予定しております。

質問 秋山共聴組合との協定書はいつ結んだのか。また、個人の柱等についての対応は。
答弁 総務課長 協定書については、二十三年七月七日に結んでおります。また、電柱等すべての承諾書については、組合が得ることとして了承し今日に至っております。

質問 今後調整すべき事項として防犯灯の維持管理の扱い及び、期日前投票については、いつ頃までどのような形で進めていくのか。

答弁 総務課長 防犯灯については、二十四年度中に仕分けをして、二十五年度末をもって統一を図りたいと考えております。また、期日前投票については、次回の選挙より、本庁舎一ヶ所での実施を考えております。

要望 これらの件については、住民に周知し、一定の時期をもって考え方を見極めながら、これらの道を探って頂きたい。



一般質問



氏家隆信 議員

新消防庁舎建設について

質問 新消防庁舎建設予定地から現在の消防庁舎まで緊急出動したときに、どのくらいの時間を要するのか。

答弁 消防総務課長 時間帯にも若干変動はあるが、早くても四分三十秒から、遅くても五分三十秒程度と見込んでいる。

質問 出勤から到着まで今までよりも時間がかかってしまう地区は何処でどの位の時間を余分に要するのか。

答弁 消防総務課長 遅延が生じる地区は旭ヶ丘地区で、現在の消防庁舎から、緊急車両で約七分、新消防庁舎から十三分前後と考えている。

質問 そうした地区の方々は、大変不安を抱いていると思う。どのような形で説明をしていくのか。
答弁 消防総務課長 住民説明会でご理解を頂いていきたい。同時に、早期通報・早期受診を市民の

その他質問

- インターネットによる行政放送について
- 地域振興券ついて
- 不妊治療助成事業について

皆様方に強く訴えていきたい。

質問 市民に広く普通救命講習や上級救命講習を受けて頂き、勉強会などを行って、少しでも補完し合える様な用意があるのか。

答弁 消防総務課長 二十一年から二十三年の三年間で、八百五十名の方が救命講習を受講している。新庁舎内では講習開催が可能となるので、月に一回以上の開催が可能となる。市民の方の要望に応じた普通救命講習二や上級救命講習などの開催も検討する。

質問 市には火災などが発生したときに防災メールによって消防団などに通報するシステムがある。その仕組みを伺う。

答弁 消防総務課長 四月以降はやまなしくらしねっとメールマガジンを利用して、同様の情報を配信する。また、消防団以外の人も配信希望者は

だれでも登録できます。新システム移行後は、配信のため通信担当者の手入力となり、現在の防災メールより若干遅れることが想定されるので、消防署の通信担当者を専任化し、防災無線を地区別にリアルタイムで送信していく方向で検討する。

質問 消防庁舎の移転に伴う市民の質問や意見の相談窓口、電話相談は。

答弁 消防総務課長 住民説明会の内容は消防本部のホームページへの掲載を検討中。また、消防総務課庶務担当に担当部署があるので、問い合わせや電話相談に対応する。

要望 消防庁舎の移転に伴って、不安を抱いている方々に理解を深めていただける様、努力する事を強く望みます。

質問 消防庁舎の移転に伴って、不安を抱いている方々に理解を深めていただける様、努力する事を強く望みます。

具体的なことについては、様々な調査報告等も視野に入れながら、コンサル委託等も考えています。



久嶋成美 議員

地域防災計画について

質問 見直しの予定と、具体的かつ実践的な対策とは何か。

答弁 消防総務課長 見直しについては、二十四年と二十五年の二ヶ年計画で行う予定です。

質問 見直しの方法と構成メンバーは誰か。

答弁 消防総務課長 防災会議のメンバーで行なう予定で、三十五名以内をもって構成し、女性も含めて考えていきます。

意見 防災会議のメンバーの中に女性も含める予定と聞いたが、これはぜひ取り入れてもらいたい。防災計画に女性の声を反映させるといふ事は、男女共同参画の面から見ても極めて重要である。意思決定の場に女性の参画を希望します。

その他質問

- 子育て支援事業について
- 構造計画特区制度について
- 水源環境税が導入されることについて

八重山トレイルレースへの取り組みについて

質問 過日、上野原市民有志が上野原を広く県外にPRすると共に里山保全を目的として、上野原二十名山を選定し、そのPRの一貫として、八重山を皮切りにトレイルレースを考えているようですが、市としての協力体制は如何に。

答弁 消防総務課長 関係部署の職員が参加する中で協議が進められており、後援という形で協力体制をとっていく事になっていきます。

質問 この事業は、市民有志が中心となり里山を守りながら、いかにして観光客を呼び込むかを考えた結果の事業です。事業の発展によつては、ハイキングのお客様を泊り込みで呼び込むことも考えられる。行政としては、さらなる踏み込んだ支援体制が必要不可欠ではないかと考えるが。

答弁 消防総務課長 今後実行委員会の中で、しっかりとした運営計画予算計画を立てていく事になっているので、それらを見極めた中で市も一緒になってやっていくことになっていきます。

意見 市の活性化を願ひ、里山を思い市民が立ち上げたものです。ぜひこのことを理解していただき強力な支援体制をお願いいたします。



一般質問



久島博道 議員

新年度の予算編成について

【質問】二十三年、二十四年度の税制改正で結果的に市民税等が増収となるが、年少扶養控除など一連の税制改正で当市の予算編成や市政運営への影響は。

【答弁】企画課長 年少扶養控除の廃止は約四千七百万円の増収、子ども手当は地方負担分が増え地方特例交付金の一部廃止、子育て支援交付金等の国庫補助の一部一般財源化に伴う減収で、予算編成上は、実質的な増収はないと思います。

【答弁】市長 教育、少子対策、特に二十四年度の防災費は昨年度に比べ二・五倍近くの予算づけをする。

【質問】「わがまちの福祉・医療行政について」

【質問】①介護保険の第五期の第三段階の細分化は②介護・医療の給付費と保険料の抑制策は

③子ども手当の未申請者
④新病院の職員駐車場は
⑤健康管理ふれあいキックについて

【答弁】長寿健康課長 第四期では第四段階の細分化をして低所得者対策を実施、保険料の不足分を第七段階の新設で基準額の一・七五倍を掛けており、今回は見送った。

健康管理ふれあいキックの配布対象者は、六十歳以上の障害者、七十五歳以上の独居者で約四百名、七十五歳以上の夫婦世帯が七百二十五世帯で、そうした方々に重点的に無償で配布します。

【答弁】市民部長 医療費の抑制策について当市は生活習慣病や糖尿病等の疾病が多く特定健診や各種がん検診の受診率向上で保健指導を充実させていく。

【答弁】福祉保健部長 子ども手当の未申請者は三月八日現在で市外に勤務する公務員を含め、百五十

六名です。

【答弁】病院対策課長・副市長 病院職員の駐車場は市が責任を持って開院までには確保します。

【質問】「わがまちの防災・減災」

①被災者支援システムの導入について
②防災会議の見直しと女性委員の登用について
③実践的防災教育総合支援事業について

【答弁】総務課長 被災者支援システムは情報推進担当と連携して自前で構築を検討。

防災会議への女性の登用は市の地域防災計画の見直しで積極的に図る。

【答弁】教育学習課長 実践的防災教育は素早く出来ればいいが、出来る所から防災対応を進めていきたい。

【要望】九九・八%の生徒を救った「釜石の奇跡」は①想定を信じるな②ベストを尽くせ③率先避難者たれとの三指針があり、防災教育は必要だ。



長田喜巴夫 議員

新年度予算の特徴について

【質問】一般会計予算総額百三億二千八百二十七万円。特別会計総額六十七億六千万円となっている。一般会計予算の特徴と新たな政策の主なものは。

【答弁】企画課長 特徴としては、上野原駅周辺事業、談合坂スマートインターチェンジ関連事業、消防庁舎建設事業、保育所建設事業などです。

新たなものとしては、孤立集落対策の衛星携帯電話の配備、高齢者世帯等への備蓄食料の配布、災害時用簡易トイレの配備、市内小中学校防災備品配備、プレミアム付上野原市振興券の発行、県東部八駅トレッキング推進事業を活用した周遊ハイキング道の整備、上野原観光大使の選任などです。

【質問】「友好姉妹都市交流の推進について」

【質問】他の都市等との交流によりまちづくりを前

その他質問

- 自然エネルギーの活用について
①小水力発電
②太陽光発電

進させることが大きな目的である。具体的には、産業、観光、文化、教育の各分野等の交流を通して、地域を発展させることが求められる。板橋区をはじめ進展の状況は。

【答弁】市長 国内外を問わず二、三のところと友好姉妹都市をつくりたく努力しています。板橋区については、帝京科学大学を通して協議を進めたいと考えています。気仙沼市についても支援関係が継続する中で進めたい。

また、外務省の友好都市担当課にもお願いしてあります。

【質問】「交流人口の増加策について」

【質問】地域経済を活性化させるためには、当市への入込数を増やすことが必要である。二十年度からの入込数の状況と西多摩地域との連携により山川、施設、旧甲州街道などをPRすべき。見解は。

【答弁】経済課長 二十年度

四十四万七千人、二十一年度四十八万七千人、二十二年四十九万四千人、二十三年度については、震災や台風の影響で、四十三万七千人となっています。西多摩地域との連携は、観光施設等が連携できるよう支援します。

【質問】二十年から二十二年まで約十%の増加です。新たな政策を打ち出さないと五十%増やすことはできない。商品のブランド化への取り組みは。

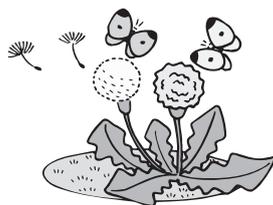
【答弁】経済課長 NPOはいはらが取り組んでいるゆず加工品、大目地区の農業法人による有機農産物による加工商品などの取り組みを通し、コミュニティビジネスがスムーズに展開できるように環境整備を図ります。また、市内の六次産業化やせいだのたまじプロジェクトなどが推進できるよう取り組みます。

今後の議会日程 ～お知らせ～

※日程については、追加・変更が生じる場合があります。正式には各定例会の本会議（初日）に決定します。

第2回定例会会期日程(内定)

- 6月 5日(火) 本会議
- 6月 7日(木) 市政一般に関する質問
- 6月 8日(金) 市政一般に関する質問
- 6月11日(月) 市政一般に関する質問
(予備日)
- 6月12日(火) 総務常任委員会
- 6月14日(木) 文教厚生常任委員会
- 6月18日(月) 建設経済常任委員会
- 6月20日(水) 本会議

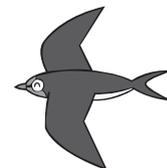


第3回定例会会期日程(内定)

- 9月 7日(金) 本会議
- 9月10日(月) 市政一般に関する質問
- 9月11日(火) 市政一般に関する質問
- 9月12日(水) 市政一般に関する質問
(予備日)
- 9月13日(木) 決算特別委員会
- 9月14日(金) 決算特別委員会
- 9月18日(火) 決算特別委員会
- 9月20日(木) 総務常任委員会
- 9月21日(金) 文教厚生常任委員会
- 9月25日(火) 建設経済常任委員会
- 9月28日(金) 本会議

第4回定例会会期日程(内定)

- 11月29日(木) 本会議
- 12月 3日(月) 市政一般に関する質問
- 12月 4日(火) 市政一般に関する質問
- 12月 5日(水) 市政一般に関する質問
(予備日)
- 12月 6日(木) 総務常任委員会
- 12月10日(月) 文教厚生常任委員会
- 12月12日(水) 建設経済常任委員会
- 12月14日(金) 本会議



広域行政

東部広域連合議会

二月二十二日、二月定例会が開会され、次の三案件が承認、可決されました。

一、承認第一号(専決処分) 山梨県東部広域連合職員給与条例等の一部を改正する条例

人事院勧告並びに構成市村の給与改定に鑑み、

所要の改正を行う必要があるために行う条例改正です。

二、議案第一号

平成二十三年度山梨県東部広域連合一般会計補

正予算(第一号)

歳入歳出それぞれ八百五十四万七千円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ二億二十九万九千

円とするものです。
三、議案第二号

平成二十四年度山梨県東部広域連合一般会計当

初予算

歳入歳出予算の総額をそれぞれ二億六十八万九千円とするもので、前年度対比八百十五万七千円の減額となっています。

東部地域広域水道企業団議会

第一回定例会が平成二十四年三月九日に開会され、提出された三議案が可決されました。

一、議案第一号 水道事業の設置等に関する条例中改正の件

大目地区の談合坂の一部を給水区域に加えるための条例改正です。

二、議案第二号

平成二十三年度水道

事業会計補正予算(第二号)

建設改良事業費を一億六千二百七十七万八千円に改め、収益的収支の収入を三千九百七十三万六千円減額し、支出を二千六百六十三万四千円増額、資本的収支の収入を六十四万三千円増額し、支出を百五十二万三千円減額する補正。

三、議案第三号

平成二十四年度水道事業会計予算

建設改良事業費を一億六千二百二十四万一千円と定め、収益的収支の収入総額を十億九千四十二万七千円、支出総額を十億八十六万五千円とし、資本的収支の収入総額を一億四千九百六十九万円、支出総額を六億千七百六十六万五千円と定めるものです。

1月～3月 議会活動

1月

- 5日 議員全員協議会
- 8日 上野原市消防団出初式
- 9日 上野原市成人式
- 11日 議会だより編集委員会
- 15日 上野原市駅伝競走大会
- 16日 上野原市商工会優良従業員表彰式典
- 18日 議会だより編集委員会
- 19日 文教厚生常任委員会
- 20日 上野原市区長会新年互礼会
- 24日 上野原市母子寡婦福祉連合会新年互礼会
リニア中央新幹線富士北麓・東部建設促進協議会
総会
- 25日 租税知識と青色申告推進書道コンクール審査委員会
- 30日 議会だより編集委員会

2月

- 1日 建設経済常任委員会視察調査(中央市)
- 4日 上野原市身体障害者福祉会新年互礼会
- 6日～7日 総務常任委員会視察調査(瑞浪市)
- 10日 議員全員協議会
山梨県市議会議長会議員合同研修会(後期)
- 13日 上野原市観光協会新年互礼会
- 22日 東部広域連合議会
新天柵ンネル交通安全祈念セレモニー
- 23日 文教厚生常任委員会
「富士山の日」制定記念式典
- 28日 山梨県市町村議会議員公務災害補償等組合定例会
- 29日 議会運営委員会
議員全員協議会

3月

- 1日 県立上野原高等学校卒業式
日本大学明誠高等学校卒業式
- 3日 大鶴小学校閉校式
上野原市社会福祉大会
- 7日 第1回定例会開会
- 8日 総務常任委員会
- 10日 桐原小学校閉校式
- 12日 文教厚生常任委員会
- 13日 市立中学校卒業式
- 14日 建設経済常任委員会
- 15日 市政一般に関する質問
- 16日 市政一般に関する質問
- 18日 桐原地区戦没者慰霊祭
- 21日 予算特別委員会
- 22日 市立小学校卒業式
- 23日 予算特別委員会
議会だより編集委員会
- 26日 予算特別委員会(総括)
- 29日 第1回定例会閉会
- 30日 大月市・上野原市はしご車共同運用調印式

与謝野晶子ゆかりの依水荘と桜



編集委員長 山口 好昭
副委員長 杉本 友栄
委員 川島 秀夫
委員 小俣 宏之
委員 東山 洋昭
委員 氏家 隆信

市民の声



上野原市民生委員・
児童委員協議会会長

山口 正文さん

「広げよう地域に根ざした思いやり」

私達、民生委員児童委員協議会では「広げよう地域に根ざした思いやり」の行動宣言のもと日夜活動を行っております。その一端を紹介して市民の皆様の御理解御協力を得たいと思います。一、安心して住みつけ

ることが出来る地域社会づくりに貢献する。地域住民がその地域でいつまでも住みつけたという願いを大切に、係機関と協力し取り組む。一、地域社会での孤立・孤独をなくす活動を提案し行動する。

一人暮らしや高齢者のみの夫婦等の孤立・孤独死の発見は地域社会に大きなショックが走ります。孤立・孤独をなくすために時には地域住民の協力を得て取り組む。一、多くの福祉課題を抱える生活困難家庭と接し地域社会とのつなぎ役に努める。複雑で困難な生活課題を抱え精神的にも経済的にも不安な状態を抱える人の発見と支援を行う。一、日頃の活動を活かし、災害発生時には要援護者の



地区民生委員による防災訓練参加

の安否確認を行う。日頃の活動で得た情報により安否確認強化を図る。

あとがき

第一回定例会において、各常任委員会と議会運営委員会の構成が変わりましたが、議会だより編集委員会は引き続き同じメンバーでスタートします。わかりやすく親しみやすい「議会だより」の編集に努めてまいります。皆様のご意見、ご要望をお寄せ下さい。